

祝 辞

寒い冬が終わり、校庭の木々も春の訪れを感じ、小さな蕾を膨らませ始めました。あらゆるものが新しく生まれ変わる、万象更新の季節です。本日、四十名の卒業生の皆さんの新しい出発をこうしてお祝いできることを、大変うれしく思います。

本日ここに、令和七年度 会染小学校卒業式が、ご来賓、保護者の皆様のご臨席を賜り、このように盛大に行われますこと、心よりお祝い申し上げます。

副学籍を含む四十名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございませす。

保護者の皆様、本日はお子様の晴れの日、誠におめでとうございませす。

ご来賓の皆様、そして地域の皆様には、日頃より会染小学校へのご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

おうちの方に手をひかれ、大きなランドセルを背負って会染小学校の校門をくぐった日のことを、覚えていますか。あれから六年。皆さんは今日、自分の足でこの舞台に立っています。

六年間には、楽しいことばかりではありませんでした。雨や雪の日の登校、コロナウイルスによる入学式の延期や一斉休校。思い通りにならない日も、たくさんありました。それでも皆さんは、一日一日を重ね、ここまでやってきました。その事実こそが、皆さんの一番の勲章です。

本日、立派に成長されたお子さんの姿に、保護者の皆様の感慨もひとしおのことと存じます。

会染小学校には、池田町が誇る伝統があります。「肥後の守」の取り組みです。

小さなナイフを自分で扱うことを通じて、自分を大切にすることを学び、同時に他者をも大切にすることを育ててきました。そして自分が学んだことを、下級生へと丁寧に伝え、教える。その姿は、毎年私たち大人の胸を打ちます。

皆さんはその伝統を、しっかりと受け取り、次の世代へと渡しました。

これは簡単なことではありません。「伝える」とは、自分がきちんと理解し、相手を思いやる力がなければできないことです。皆さんはその力を、六年間でちゃんと身につけました。

四月から、皆さんはいよいよ高瀬中学校の生徒です。池田小学校の仲間たちとともに、新しい世界が始まります。

楽しみな気持ちと、少し不安な気持ち、両方あって当然です。でも、一つだけ覚えておいてください。

皆さんはすでに、「やり遂げる力」と「人に伝える力」を持っています。

児童会活動や運動会で、苦しいこともあったはずですが、それでも友達と協力し、下級生を引っ張り、最後まで立派にやり遂げた。その経験は、これから先どんな場所へ行っても、必ず皆さんの支えになります。自信と誇りを持って、中学校の門をくぐってください。

池田町には「ただいま★いけだまち」という合言葉があります。どこへ行っても、いつ帰ってきてても、皆さんをいつでも家族のように迎えられるよう、町は取り組みを続けています。地域の皆さんと一緒に、ずっと応援してまいります。

そして、誰より皆さんを見守り、応援してくれているのはご家族の皆さんです。これから先、悩むことも苦しいことも必ずあります。でも皆さんは決して一人ではありません。いつでも、相談してください。

校長先生をはじめ、先生方には六年間にわたり子どもたちに心血を

注いでご指導いただきました。町民を代表し、深く敬意と感謝を申し上げます。

むすびに、卒業生の皆さんの輝かしい未来と、会染小学校の益々の発展をご祈念申し上げ、祝辞といたします。

令和八年三月十六日
池田町長 矢口 稔